

平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立湖南中学校)

平成31年2月15日

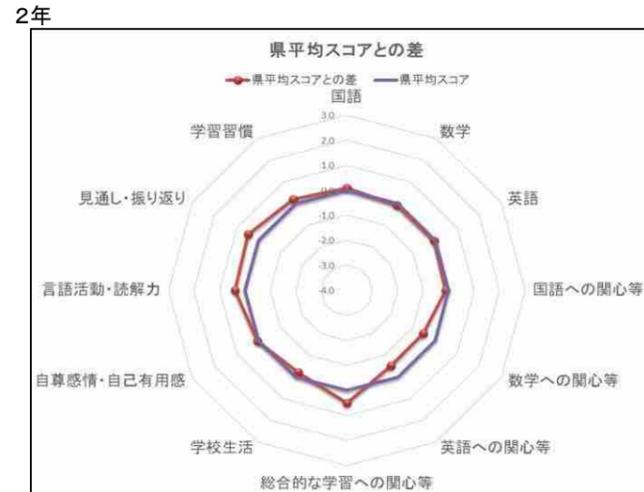
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	国語	○「話す 聞く」「読む」「伝統的な言語文化と国語の特質」の領域で県平均を上回っている。 ○「文章の構成を考えて書く」(作文)は県平均を上回っている。 ●「書く」の領域、特に「根拠を明確にして意見を書く」(作文)は県平均をわずかに下回っている。	・意見文の学習に限らず、普段の学習で感想を書く時に、自分の立場や意見の根拠を明確にして書くような習慣をつける。
	数学	○方程式や関数の問題の正答率は県平均を少し上回っている。 ●選択式の問題に対する正答率が低く、さらには無解答率が高い。 ●数学をやや苦手としている者が多く、数学への興味・関心が低い。	・復習の機会を増やしたり、「できた」という成功体験が得られたりする教材の工夫。 ・興味や関心をひいたり、理解しやすくなるような教材の工夫。(視覚的な教具の利用なども含む) ・発展的な学習も含め、個に応じた対応ができるような課題の工夫。
	英語	○読む能力が他の能力に比べてポイントが高い。 ●英語の学習に対する関心・意欲の低い生徒が多い。	・興味、関心をひくような教材を提示する。 ・学習規律の徹底を図る。
2年	国語	○「話す 聞く」の領域で県平均を上回っている。 ○「考えや意見を効果的に伝えるように工夫して書く」(作文)は県平均を大きく上回っている。 ●品詞の識別(文法)の正答率が低い。	・文法(品詞の識別)の学習は、再度行い、繰り返し練習をする。
	数学	○記述問題に対する正答率は県平均に比べ高い。また無解答率も低く、自分の考えを表現しようとしている。 ○資料の活用の領域の正答率が高い。 ●関数領域の問題に苦手意識があり、正答率が低い。 ●選択式の問題に対する正答率が低い。	・意味理解を大切にし、グループ等での意見交換を通して、自分の考えをじっくりと整理するような授業の工夫。 ・生徒の声でつくる授業を積み重ねることにより、生徒へ数学に対する自信を持たせるような授業展開。 ・発展的な学習も含め、個に応じた対応ができるような課題の工夫。
	英語	○ペア活動のときの積極性が高い。 ●言語や文化に対する知識・理解が他の能力に比べてポイントが低い。 ●英語で伝え合う活動が少ない。	・新出文型の学習後に、実生活に即したコミュニケーション活動を定期的に取り入れる。

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	授業改善に関わる事項	○校内研究のテーマである『協同学習』の実施により、「授業で話合う活動をよく行っている」に関しては、県平均とほぼ同じである。 ●学校図書館を活用しての授業に関して、十分に活用できていないことも含め、課題が見られる。	・朝学習の時間の再検討。(朝読書の時間の復活) ・情報収集の場や機会の検討を含め、学校図書館を活用した授業等の校内研修や会議の実施。 ・小グループ内だけでなく、他のグループや学級全体でのOUTPUTしていく機会の設定。(学びの振り返りの場も含めて)
	家庭学習に関わる事項	○「家庭学習1時間以上(平日)」は県平均とほぼ同じである。 ●「家で学校の授業の復習をしている」点に課題が見られる。 ●「宿題をていねいに見て返している」に関しては県平均を下回っており、そのように生徒に感じさせている点は教員側の課題。	・家庭学習の充実に向け、改善策として11月より学校体制で取り組んでいる。 ①家庭学習取組表の記入(家庭学習の計画と実施) ②放課後学習会『宿題を学校で少しやって帰りませんか』の継続。
2年	授業改善に関わる事項	○校内研究のテーマである『協同学習』の実施により、「授業でグループでの調べ学習」や「自分の考えを発表する機会」について、肯定的な割合が県平均より高い。 ●学校図書館を活用しての授業に関して、十分に活用できていないことも含め、課題が見られる。 ●平日10分以上読書している者が少ない。	・朝学習の時間の再検討。(朝読書の時間の復活) ・情報収集の場や機会の検討を含め、学校図書館を活用した授業等の校内研修や会議の実施。 ・小グループ内だけでなく、他のグループや学級全体でのOUTPUTしていく機会の設定。(学びの振り返りの場も含めて)
	家庭学習に関わる事項	○昨年度の県学力調査や今年度の全国学力・学習状況調査と比較すると、「家庭学習時間1時間以上(平日)」が県平均より上回るようになった。 ●「宿題をていねいに見て返している」に関しては県平均を下回っており、そのように生徒に感じさせている点は教員側の課題。	・家庭学習の充実に向け、改善策として11月より学校体制で取り組んでいる。 ①家庭学習取組表の記入(家庭学習の計画と実施) ②放課後学習会『宿題を学校で少しやって帰りませんか』の継続。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
1年生	本校	70	37	62
	松江市	68	41	65
	島根県	67	38	64

(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
2年生	本校	67	39	56
	松江市	67	43	58
	島根県	65	40	57

受検者数
1年生 167人

受検者数
2年生 153人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

